



学校だより

CONTENTS

巻頭言 チャレンジしよう! / 校長 三谷 卓也	2
特集<入学・進級特集>	
新生へのメッセージ	2
令和4年度本科入学生出身中学校・専攻科出身学科一覧	6
留学生紹介・令和4年度行事一覧	7
各学科・専攻科入学にあたり	8
教職員より（各学科・教育研究支援センター・事務部）	14
各学年主任より	19
着任者挨拶	20
各施設から	23
学生相談室 / 図書館 / 情報基盤センター / 国際交流室 / ダイバーシティ推進室 / インターンシップ支援室 / 進路支援室	
NEWS&TOPICS	26

第126号

2022.6.24 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

巻頭言 チャレンジしよう!

校長 三谷 卓也



携した取組など、いろいろな機会がありますので、どんどんチャレンジしてください。

私たち教職員は、保護者や関係者の方々のご協力をいただきながら、皆さんのチャレンジを、そして夢や想いを叶えるための取組を、しっかりとサポートしていきます。

なお、私も山崎前校長の後任として、4月に着任したばかりの新米校長です。私にとっても、新しく学ぶべきこと、これまでにない経験、新しい出会いの連続です。これまでの取組を継承しつつ、群馬高専をより発展させていけるよう、皆さんと同様に私もチャレンジしていきますので、よろしくお願いたします。

本科および専攻科の新生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年度、本科生207名、留学生2名、編入学生1名、専攻科生36名、あわせて246名を本校に迎えることになりました。皆さん、いろいろな夢や想いをもって入学されたと思います。その夢や想いを大切に、叶えるために、在学期間を通して頑張ってください。

ところで、これからの社会は、ヒト、モノ、情報、さらにはあり方や存在、考え方、そういった様々なものが科学技術を媒介にして繋がり、新たなものや価値を生み出していく社会になるだろうと私は考えています。そのような社会では、知識・技能、常識やマナーはもちろん、いろいろな体験や経験を通して得られたものをたくさん持って、それらを必要な時に活用できる、また、一見関係ないようにみえることでも組み合わせる新しいモノや価値を作り出せることが求められるだろうと思っています。

こういったことができるようになるには、もちろん勉強も必要ですが、いろいろなチャレンジをし、体験をし、またいろいろな人と出会って、そこから学ぶことが必要不可欠です。高専には、勉強や部活、各種コンテストや大学・企業等と連

特集 入学・進級特集

入学おめでとうございます

学生主事 櫻岡 広



専攻科および本科の新生の皆さん、入学おめでとうございます。満開の桜の中、皆さんを本校に迎えることができ嬉しく思います。ただ、まだ新型コロナウイルスの収束

が見えない中での入学式となり、通常の入学式等ができなかったことを申し訳なく感じています。

ここ数年、「英語教育」についていろいろ議論がされています。英語が重要なことは認識していますが、私はそれよりも「日本語」についての心配のほうが日に日に大きくなっています。学

生と話していても、「自分の考えていることを伝えられない、順序だてて話せない」と感じる事が多くありますし、学生の書いた書類を見ても「語彙の少なさ、適切な言葉の使用」に違和感を持つことがよくあります。ただこれは、学生だけの問題ではなく、マスコミをはじめ社会全体が「日本語」の扱いを疎かにしていることも原因のように思います。

これから皆さんはレポートを書き、さらに論文を書くということをしていくでしょう。自分の考えていることを人に伝えるということは、簡単なことではありません。自分はこう思って書いたことを相手は違うように解釈する、ということはよくあることです。ぜひ、日本語も大切にしてください。

入学おめでとうございます

寮務主事 榎本 弘



1年生の皆さん入学おめでとうございます。コロナ禍も3年目に入りました。昨年までは社会の受け止めかたも違ってきます。3回目のワクチン接種を済ませた学生も多いでしょう。以前よりは慣れてきたといえますが、第6波が最後になるかは分かりません。油断せずに前に進んで行きたいと思えます。

今年度学生寮は多くの新入寮生を受入れました。1年生だけで男子23名、女子10名です。加えて3年生には留学生2名も入寮して、合計140名が寮生活を送っています。本来の定員はもっと多いのですが、コロナ感染対策のために二人部屋も個室として運用しています。1年生の様子を見ていると既に友達ができた寮生もいれば、まだできていないとの返事が返ってくる時もあります。全員と親しくなる必要はありませんが、何気ない会

話ができる友人の存在は大切です。なかなか友達ができない学生も自分から動いてみましょう。まずは声をかけて下さい。必ず気の合う仲間ができると思います。

最後にガイダンスの時も話しましたが通学生の学生寮内への無断立ち入りは厳禁です。コロナ感染予防の観点からも厳守して下さい。お願いします。

特集 入学・進級特集

「頑張れる事」を見つけよう

教務主事 辻 和秀



すぐにはわからないと思いますが、高専5年間の間に、ぜひ見つけてください。自分の特徴を知るのはとても大事な事だと思いますが、その中でも「何に頑張れるか」というのは将来を決める上で最も重要なことだと思います。そのために、群馬高専での様々な授業や活動、学外での活動などを通して、様々な体験をし勉強をしてください。

一年生の皆さん、入学してから数ヶ月がたち、群馬高専の生活に少し慣れてきたころだと思います。群馬高専は様々な点で自由な学校です。細かい目標が与えられる事はありませんし、こうすべきという指導も少ないと思います。生活に関しても、制服はありませんし、休み時間にアイスを食べてもかまいません。あれとこれを頑張れ、ということも言われません。どんな事に頑張るか、もかなり自由に選択できるわけです。恐らく、皆さんは初めてこのような自由を手に入れたのだと思いますので、戸惑いもあるかもしれません。様々な「頑張る」があると思いますが、「無理なく楽しくそして達成感を感じられる」のは、どんなことをした時か、時々考えてみてください。

専攻科は新たな学校

専攻科長 大塚 聡



専攻科1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。と言ってもこの原稿を読むのは6月ですね、もう専攻科生活に慣れましたか。

4月当初は、本科と違い選択科目が多く自分で授業科目を決めるというのに戸惑ったかもしれません。科目は学修単位であり、授業時間のほかに時間外学習が課せられていて課題等も多くなったかもしれません。出欠席の扱いも違いますね。授業では少人数によるものや、出身学科にとらわれず横

断的なものもあります。実務経験の長い企業の方を講師に招いてオムニバス形式で行う企業論や総合工学などは特徴的です。新たな学校という感じがしてきたでしょうか。

とはいうものの、大学に編入学した場合と異なり、高専5年生で始めた研究活動を途切れることなく続けて行えるというのが専攻科のよいところです。専攻科の特別研究では、卒業研究を進展させる人、新たな研究を始める人いろいろだと思います。でもこの2年間で研究を充実・発展させられると思います。

講義や研究だけでなく、学生時代の今だからできることもあるかもしれません。専攻科生という学生生活を楽しんでください。

研究・地域連携推進とは？

校長補佐(研究・地域連携推進担当) 市村 智康



本科ならびに専攻科の新生のみなさん、群馬高専・群馬高専専攻科へのご入学おめでとうございます。本年度から、研究・地域連携推進を担当させていただきます電子情報工学科の市村です。「研究・地域連携推進」という言葉は、学生のみなさん、特に本科新生のみなさんには分かりづらいと思います。これは、高専という学校の教育組織の位置付けが理由かもしれません。高専は高等学校と異なり高等教育機関に分類され、その役割は教育、研究、地域貢献と多岐にわたります。教員は、各々の分野

で研究を行うとともに、そこで得られる知識や最新の情報を授業や卒業研究を通して学生のみなさんへ伝えていきます。さらに、企業との共同研究、技術相談、受託研究を通して地域産業の発展に貢献しています。そして、研究・地域連携推進の役割は、これら3つの群馬高専の役割を相互に結びつけ、推し進めていくことです。

近年、高等学校ではスーパーサイエンスハイスクール(SSH)として、数理分野での校外組織との共同教育が行われつつあります。しかし、高専の場合、このような取り組みが基本であり、より実践的に地域産業とともに取り組んでいます。

新生のみなさん、群馬高専での先進的な学びを通して、未来へ羽ばたく準備を始めましょう。

充実した学校生活を送るために

校長補佐(広報戦略担当) 佐々木 信雄

新生のみなさん、ご入学おめでとうございます。この学校だよりが発行される頃には、だいぶ学校生活にも慣れてきていると思います。友達もできたでしょうか？群馬高専では、2年間は混合学級で全学科の学生と一緒に学びます。また、部活動に入ることで、他学科の先輩とも親しくなれます。学科の友人は3年になってからでも作れますので、今のうちに、いろんな学科の人と友達になってください。それが充実した学校生活を送る秘訣の一つです。

もう一つの秘訣は、いろいろな先生と仲良くなることです。低学年の科目は、一般教科の先生はもちろん、各学科の先生が数学や化学を教えてください。皆さん、各分野では専門の先生

です。自分がやっている研究とか、興味があることについては、丁寧に教えてください。また、これからの時代、技術者が生き残っていくためには、自分の専門分野以外の知識や考え方を知っておく必要があります。5年間を充実したものとするために、人とのつながりを何よりも大事にしてください。それが君たちの生涯の財産になると思います。



行動なくして成果なし

校長補佐(評価・FD担当) 堀尾 明宏



入学おめでとうございます。群馬高専によくこそ！

今、皆さんは新鮮でとてもやる気に満ちているのではないのでしょうか。まずは、「初心忘るべからず」、この今の新鮮な気持ち

を大切に、積極的にチャレンジし、多くのことを経験し、人間として成長していただきたいです。そのためには、まずは学校生活に慣れるためにも、友達作りから始めてください。勇

気をもって、自分から話しかけ、自分から動くことが大事です。できれば、生涯の友と呼べる友達を作れることを期待しています。次に、将来の目標を掲げてください。また、その目標を実現するためには何をすべきかを考えてみてください。自ら考え、行動することが大切です。「行動なくして成果なし」です。

勉強面では、工学の基礎をしっかりと学び、土台を作りましょう。高専では、早い時期から基礎をしっかりと身につけることができます。「基礎なくして応用なし」です。

最後に、高専の5年間は長いようで短いです。多くの仲間たちと今しかできない思い出をいっぱい作って、最後は笑って、卒業式を迎えて下さい。

8年後!?

後援会会長 酒井 義明



本科新生の皆さんが、卒業する5年後ではなく、専攻科を修了する7年後でもない8年後。専攻科新生の皆さんにとっては、修了後6年が過ぎたそれほど遠くない将来…。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されているSDGsの目標達成年です。

皆さんは、世界が17のゴール・169のターゲットに向けて変化するか、群馬高専で学び社会に飛び立ちます。その時、世

界がどう変わっているのか？自分はどこで何をしているか？ワクワクしますね。

いま、2030年に向けて先輩たちは多くの課題と戦っています。そして、少しずつゴールに向かっていきます。皆さんは、問題を提起し、課題を解決する武器を持っていますか？大丈夫！それはこれからの日々の探求のなかで身につけていきましょう。次のSDGsを創る主役は皆さんです。

大きな期待を掛けてしまいましたが、皆さんが日々幸福であることが一番大切です。自己の価値をしっかりと評価してあげましょう。生活を楽しみ、仕事を楽しみ、学びを楽しめるからこそ、Well-beingな社会を創っていくことができるのですから。

新しい出会いを大切に

学生会会長 3M 富田 悟史

ご入学おめでとうございます。期待で胸がいっぱいだった入学当初から時間が経ち、高専生活に慣れてきた頃でしょうか。部活動や愛好会活動には入ったでしょうか。上級生の先輩方はすごく大人に見えているでしょう。皆さんにはこれから5年間という長い高専での生活が待っています。この場所で5年間を通して様々な場面で分かり合える仲間に出会ってほしい。専門の道を選んだ一人一人が悩み、集まっているのが高専です。ですから、自分と同じ志を持った仲間がきっと見つかるはず。自分の特技を磨いたり趣味を見つけたりすることで繋がりができることもあるでしょう。そして、高専には個性を発揮できる環境があります。学生生活の特徴としては、私服であり、

ほかの高校生にはないほどの長期休みがあります。行事は2年に1度の工華祭、体育祭をはじめ、球技大会もあります。ふとしたことがきっかけで一致団結することもあるでしょう。そんな仲間と、これから切磋琢磨し合い、専門的な技術や知識を身につけて行くことができます。是非、素敵な高専生活をお過ごしください。



入学式



【令和4年度】本科入学生出身中学校・専攻科出身学科一覧

本科入学生出身中学校			
群馬県	伊勢崎市立殖蓮中学校	1	
前橋市	伊勢崎市立宮郷中学校	3	
前橋市立第一中学校	伊勢崎市立第四中学校	2	
前橋市立第三中学校	伊勢崎市立赤堀中学校	4	
前橋市立第五中学校	伊勢崎市立あずま中学校	1	
前橋市立第七中学校	伊勢崎市立境西中学校	2	
前橋市立桂萱中学校	伊勢崎市立境南中学校	1	
前橋市立芳賀中学校	9校	18名	
前橋市立東中学校	太田市		
前橋市立南橋中学校	太田市立西中学校	2	
前橋市立木瀬中学校	太田市立強戸中学校	2	
前橋市立鎌倉中学校	太田市立宝泉中学校	1	
前橋市立箱田中学校	太田市立毛里田中学校	1	
前橋市立粕川中学校	太田市立藪塚本町中学校	1	
前橋市立富士見中学校	5校	7名	
群馬大学共同教育学部附属中学校	沼田市		
14校	沼田市立沼田西中学校	1	
31名	沼田市立池田中学校	1	
高崎市	沼田市立白沢中学校	1	
高崎市立第一中学校	3校	3名	
高崎市立高松中学校	館林市		
高崎市立並榎中学校	館林市立第一中学校	1	
高崎市立豊岡中学校	1校	1名	
高崎市立中尾中学校	渋川市		
高崎市立長野郷中学校	渋川市立渋川中学校	2	
高崎市立大類中学校	渋川市立金島中学校	1	
高崎市立塚沢中学校	渋川市立渋川北中学校	1	
高崎市立片岡中学校	4校	5名	
高崎市立佐野中学校	渋川市立北橋中学校	2	
高崎市立倉賀野中学校	渋川市立子持中学校	1	
高崎市立寺尾中学校	渋川市立伊香保中学校	1	
高崎市立八幡中学校	6校	8名	
高崎市立矢中中学校	藤岡市		
高崎市立箕郷中学校	藤岡市立西中学校	1	
高崎市立群馬中央中学校	藤岡市立東中学校	1	
高崎市立群馬南中学校	藤岡市立北中学校	1	
高崎市立新町中学校	藤岡市立小野中学校	1	
高崎市立榛名中学校	4校	4名	
高崎市立吉井中央中学校	富岡市		
高崎市立吉井西中学校	富岡市立東中学校	5	
21校	1校	5名	
52名	安中市		
桐生市	安中市立第一中学校	4	
桐生市立相生中学校	安中市立第二中学校	4	
桐生市立清流中学校	2校	8名	
2校	3名		
伊勢崎市	みどり市		
伊勢崎市立第一中学校	みどり市立大間々東中学校	2	
伊勢崎市立第三中学校	1校	2名	
北群馬郡	榛東村立榛東中学校	3	
吉岡町立吉岡中学校	10		
2校	13名		
甘楽郡	甘楽町立甘楽中学校	2	
1校	2名		
吾妻郡	東吾妻町立東吾妻中学校	1	
長野原町立東中学校	1		
長野原町立西中学校	1		
嬬恋村立嬬恋中学校	1		
草津町立草津中学校	1		
5校	5名		
佐波郡	玉村町立玉村中学校	6	
玉村町立南中学校	3		
2校	9名		
邑楽郡	大泉町立南中学校	2	
1校	2名		
利根郡	みなかみ町立月夜野中学校	2	
みなかみ町立水上中学校	1		
みなかみ町立新治中学校	1		
昭和村立昭和中学校	1		
4校	5名		
多野郡	上野村立上野中学校	1	
1校	1名		
青森県	弘前大学教育学部附属中学校	1	
1校	1名		
長野県	佐久市立中込中学校	1	
1校	1名		
専攻科入学生出身学科			
生産システム工学専攻	機械工学科卒業生	4	
電子メディア工学科卒業生	9		
電子情報工学科卒業生	5		
	18名		
環境工学専攻	物質工学科卒業生	13	
環境都市工学科卒業生	5		
	18名		
埼玉県深谷市	深谷市立花園中学校	1	
深谷市立藤沢中学校	1		
深谷市立上柴中学校	1		
深谷市立南中学校	1		
深谷市立幡羅中学校	2		
深谷市立明戸中学校	1		
6校	7名		
埼玉県春日部市	春日部市立江戸川小中学校	1	
1校	1名		
埼玉県上尾市	上尾市立東中学校	1	
上尾市立太平中学校	1		
2校	2名		
埼玉県行田市	行田市立西中学校	1	
1校	1名		
埼玉県川越市	川越市立名細中学校	1	
1校	1名		
埼玉県児玉郡	上里町立上里中学校	1	
上里町立上里北中学校	1		
神川町立神川中学校	2		
3校	4名		

留学生紹介

モンゴルの留学生

3E アラティンバートル エンフルド (モンゴル)

はじめまして、3Eのスルドです。モンゴルから来ました。モンゴルにいた時もモンゴルの高専の学生でした。小さい頃から日本へ来たかったんですが、1年ぐらい前日本に来る機会があって日本へ来るようになりました。来てから今までの間に日本語をずっと勉強していますがまだよく話せるようになっていませんけど群馬工業高等専門学校の先生方も勉強を助けてくれているので日本語能力がどんどん向上していますから嬉しいです。今から群馬工業高等専門学校で色々勉強して頑張ります。よろしくお祈りします。



日本での新経験

3K シハラス ノイワン (ラオス)

はじめまして、3Kのノイです。ラオスからの留学生です。日本の最先端の技術に興味を持ち、群馬工業高等専門学校に入学しました。ここで始まった学校生活を楽しんでいます。私は昨年一年間東京で日本語を習っていました。日本の季節の中で秋や春が好きですが、特に秋は一年で最も美しい季節だと思います。日本で初めて見た紅葉はとてもきれいでした。その時の写真は家族も感動してくれました。これからも機会があれば日本のきれいな風景や季節を楽しみながら、日本のことをもっと深く理解し、文化交流を深めていきたいです。



よろしくお祈りします。

【令和4年度】本科・専攻科学校行事一覧

月	日	行事名	種類
4月	5日	入学式	本科行事
	6日	始業式・新入生歓迎会	本科行事
	6日~7日	健康診断	専攻科行事
	8日	授業開始	専攻科行事
6月	3日~9日	前期中間試験	本科行事
	24日	球技大会	専攻科行事
7月	26日~8月1日	前期定期試験	本科行事
8月	2日~8日	前期定期試験	専攻科行事
	17日~9月12日	夏季休業	専攻科行事
9月	9日~9月26日	夏季休業	専攻科行事
	13日~16日	4年生社会見学旅行	本科行事
	21日	3年生研修旅行	本科行事
	22日	1・2年生研修旅行	本科行事
10月	27日	後期授業開始	専攻科行事
	28日	後期授業開始	専攻科行事
	13日	防災避難訓練	専攻科行事
	15日~16日	プログラミングコンテスト	専攻科行事
10月	16日	ロボコン地区大会	専攻科行事
	26日	体育祭	専攻科行事
10月	29日	1・4年生保護者懇談会	本科行事
11月	5日	2・3年生保護者懇談会	本科行事
	12日	英語弁論大会	専攻科行事
	22日~29日	後期中間試験	本科行事
11月	27日	ロボコン全国大会	専攻科行事
	10日	芸術鑑賞会	専攻科行事
12月	10日~11日	デザインコンペティション	専攻科行事
	26日~1月5日	冬季休業	専攻科行事
1月	6日	授業再開	専攻科行事
	24日	特別研究発表会	専攻科行事
	23・25・26日	卒業研究発表会	専攻科行事
2月	3日~9日	後期定期試験	本科行事
	24日	特別研究I発表会	専攻科行事
3月	1日~31日	学年末休業	本科行事
	2月25日~31日	学年末休業	専攻科行事
	17日	卒業式・修了式	本科行事

各クラス正担任からのメッセージと各クラス代表学生の入学にあたっての感想をいただきました。



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

Teacher

interview

Student

本気で

1年1組 正担任 碓氷 久

群馬高専に入学した皆さんに言いたいのは、いろいろなことに本気で取り組んで欲しいということです。本気で取り組むと、面白いことがいっぱいあります。本気でやってもできなかったら、自分の能力がないことになってしまう。適当にやってもいいのが格好いいことで、一生懸命やるなんて格好悪い。そんな風に言う人もいますが、私はそうは思いません。何かができないときに、適当にやっているからできないだけで、本気でやればできる、なんて言っても、それこそ格好悪くないですか？ 本気で取り組んでできないこともあるかもしれませんが、でも、できないってことがわかります。本気で取り組まなければ、できるかできないかさえないです。ただ、すぐにできないなんて思わないでください。まだ「本気さ」が足りないだけということもよくあります。本気で手に入れたいと思ったら、いろいろな方法が思いつきます。何だかんだ言いましたが、何より、本気で取り組むと、面白いんです。

入学にあたっての感想など

1年1組(機械工学科) 引間 行星

高専について知ったのは中学2年生くらいの頃でした。中学を卒業してから5年間、専門的な知識を学ぶことができる高等教育機関。「そんな学校あるんだ。」と、とても興味を持ちました。中学3年生の頃には本気で高専に入ろうと思い始めました。入試説明会で初めて高専に足を踏み入れた時は、とにかく広くて驚きました。正直そのことが1番印象に残っています。やはり、実際に見てみるとわからないものだなと感じました。
某高専系YouTuberのせいでモチベーションが下がり「やっぱり高専諦めようかな。」なんて思うこともありましたが、無事に高専生になることができました。
高専に入学してまだ数週間ですが、高専らしさというものを実感しています。
特に、わかっていたことではありますが90分授業が長いです。最初の授業は最初ということもあり、あまり長くは感じませんでしたが、最近は慣れてきたのか授業が長く感じます。また、留年という言葉がより一層恐ろしくなりました。しかし、色々不安はあるものの今は高専生活がとても楽しいです。
高専でしっかりと知識を付けて卒業できるように頑張りたいです。

Teacher

interview

Student

誰でも忘れてたり勘違いしたりする

1年2組 正担任 熊谷 健

「明日小テストあるよ」「レポート提出日だよ」「日直だよ」「宿題終わった?」「分からなかったところ教えて!」このような会話が頻りに飛び交う。それは素晴らしい空間。学びの空間はコミュニケーションが大事な場。重要なことを忘れてたり、勘違いして記憶していたりすることがある。私自身、忘れないように手帳にメモしているが、勘違いして別な日や時間をメモしていることがある。誰でも間違えるのだ。ましてや、宿題やレポートに追われ、日々忙しく過ごしている学生諸君はそのようなことが頻りにあるのではないだろうか。忙しくても趣味や好きなことにも時間を割きたい。そのタイムマネジメントが必要である。だから、メモを取る、掲示を見る、Teamsを確認する。さらに、友達同士で、また、先生方とも十分に情報共有することが重要である。「忘れてたり、勘違いするのが普通!」だから、忘れにくい、そして勘違いがすぐに発見しやすいネットワークを構築しながら、高専生活の中で難しい勉強に取り組んでいこうではないか。

自分を律し

1年2組(電子メディア工学科) 神崎 柚人

4月5日、期待と緊張を胸に、私は群馬高専に入学しました。最初は、自由な校風や中学校との違いの大きさにとても驚き、戸惑うことも多くありました。しかし、担任の先生が繰り返しおっしゃっていた、「みんなで補い合い、協力していけるクラスにしよう。」という言葉を受け、分からないことや不安なことを互いに聞きあったり、確認しあったりし、群馬高専の環境に慣れることができました。
入学してから数日が経ち、授業が始まりました。高専の授業は、ここまで詳しくやるのかと驚くほど詳しく、丁寧で、覚えることよりも全員が理解を深め、納得することを重視しているという印象で、先生方や先輩方も優しく、面白い方が多いです。このような恵まれた環境の中で学ぶことに感謝しながら、精一杯勉学に励み、高専生活を楽しんでいきたいです。また、群馬高専は基本的に自由です。だからこそ、自分で自分を律し、考える力をつけていきたいです。



1年3組

(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)



1年4組

(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

Teacher

interview

Student

みなさんに伝えたいこと

1年3組 正担任 宮川 剛

高校時代、苦手で嫌いな科目は数学でした。しかし、志望大学（文系）が、やたらと難しい数学の問題を出題するところだったので、しぶしぶ勉強時間の大半を数学に費やしていました。その甲斐もあり、入試本番では、英語で大失敗したにもかかわらず、数学で健闘して、無事志望大学に合格できました。

このような「数学弱者」だった私が新入生のみなさんに助言したいのは、苦手な科目ほど間をあげずに（できれば毎日）勉強する、ということです。間があれば、感覚を取り戻すのに時間がかかり、一層その科目の勉強が嫌になります。その科目の勉強を毎日の習慣にしましょう。

古代ローマの哲学者キケロの言葉に、「習慣によって、第二の天性が作られる」というものがあります。日々の修練を習慣化することで、後天的に才能を身につけることが可能である、という意味です。みなさんは5年の間にどれほど多くの「才能」を身につけることができるでしょうか。大いに期待しています。

楽しみながらコツコツと

1年3組(電子情報工学科) 黒澤 陸

この春、僕は群馬高専に入学し、夢へ向かっての第一歩を踏み出しました。新たな生活に不安を感じることもありました。しかし、憧れだった高専に入学し、学生としてその一員に加わった嬉しさ、これからの5年間に対する期待、そういういったプラスの気持ちの方が強かったのを覚えています。

そして始まった90分授業。個人的には「90分授業に慣れる」、これが最初にして最大の関門だと思います。緊張している僕達に手を差し伸べるかのように先生方は優しく声をかけてくれました。その言葉には重みがあり、「背中を押してもらった」そんな気がしました。また、部活の先輩や同級生の志は高く、「負けてられない!」と思うことが多々あります。共に高め合える友達に巡り会えたこと、自分の好きなことを高いレベルで学べるなど、入学してから間もない時期でも「この学校に入学して良かった」と心から思えます。

これからの5年間、恵まれた環境で勉学に励むことができると思うと毎日が楽しみになります。「楽しみながらコツコツと。」これを軸にして悔いのない学生生活を送っていきたいです。

Teacher

interview

Student

ようこそ!群馬高専へ

1年4組 正担任 佐藤 孝之

高専生活が始まり、みなさんはどんなことを思っていますか? 「中学校生活よりも高専生活は楽しい!」、「オタクな友達が多くて楽しい!」多くのことを感じていると思います。「どんなビジョンを持って群馬高専に来たのだろうか?」、「自分が起こさなければならないアクションは何か?」。今の気持ちを書き止め、保護者に渡してみてください。そして5年後?の卒業の時にその文章を返してください。そして5年後?の卒業の時にその文章を返してください。その通りにできたのか、それ以上のことを成し遂げられたのか、どのような結果になったのか。日々の生活がみなさんの5年後の結果をつくり、その後の人生をつくります。多くの教職員と会話し、自分の学科外でもいいから何か夢中になれるというものを見つけましょう。そしてその教員の研究室に入り浸り、見て、感じ、考え、アウトプットしてみてください。多くの教員はみなさんの可能性を信じ、1年生のころから早く遊びに来てくれることを笑顔で待っていますよ! 「そして、いつも笑顔を忘れずにね(魔女の宅急便より)」

なりたい自分になるために

1年4組(物質工学科) 塚越 啓介

中学生になって理科や英語に興味湧き、「群馬高専で5年間過ごすのも悪くないのではないか」「国際的な立場で活躍したい」と思うようになり群馬高専への入学を決意しました。そして、ついに群馬高専に入学することができました。高専生活が始まってから約3週間が経ちましたが、新しい友達もできて、90分の授業にも慣れてきました。まずは一年間、「なりたい自分になれるように日々の勉強を怠らないようにする」を目標として、努力を続けていきたいです。

今の私の夢は、「人々の生活に役立つ物質を自分の手で作る」です。自分の夢を叶えることを大きな理由として物質工学科を選択しました。ですが私は今、実験ノート、レポートという大きな壁にぶつかっています。そう簡単にはいけません。この壁を乗り越え、実験内容や得られた実験結果の理解を深められたら何よりだと思います。

今まで私を支えてくれた家族、恩師、友達に感謝の気持ちを表すためには、どのように高専生活を送ったらいいのかを考えながら、5年間なりたい自分を見失わずに高みを目指していきます。



1年5組

(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)



専攻科

(教員左から、副専攻科長、三谷校長、専攻科長、副専攻科長)

Teacher

interview

Student

Que sera, sera

1年5組 正担任 宇治野 秀晃

新入生のみなさん。ご入学、おめでとうございます。保護者のみなさまにも、心よりお祝い申し上げます。保護者と教師、それぞれの視点から学生の成長と一緒に見守って参りたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

今、みなさんの中で希望と期待の中に少しだけ影を落としているかもしれない不安、それは、新たな環境にこの春飛び込んでいった、みなさんと同世代の人たちが大抵感じる「あるある」です。そして大抵の大人は、みなさんと同じ年頃に、そんな不安をくぐり抜けた心の内をもう思い出せません。

大丈夫、なるようになります。

学びとは、思い通りに進むことばかりではない歩みと、ときに休み休み、でも諦めることなく向き合い続けることなのでしょう。「ホントにできるの?」というあるあるの不安を脇において、まずは「きっとできるに違いない!」と信じ、トライしましょう。その先に、みなさんが夢にだにしない、ワクワクする未来が待っていることを期待します。

夢に向かって気持ちを新たに

1年5組(環境都市工学科) 梅本 暖斗

桜の花びらが柔らかな風に舞う中、私達は群馬高専の入学式を迎えることができました。

初めての登校に緊張しながらぐった門でしたが、先生方の励ましの言葉によりすぐに期待の方が大きくなりました。

これからの5年間で中学校とはまた違った新たな経験をし、得られるものが沢山あると思います。

学生生活では、それぞれの目標に向かって教養や専門知識、技術を身につけ世界で活躍できるグローバルな技術者になれるよう自主性と自律性をもって勉学に励むとともに切磋琢磨できる友人と豊かな人間性を築いていきたいです。

そして高専生としての自覚、誇りを持ち自立した学生生活を送れるよう心がけていきたいと思っています。

Student

interview

Student

高専6年生になって

生産システム工学専攻 1年 齊藤 創

皆さんは6年間という言葉にどんなイメージを持つでしょうか?身近なところだと小学校の在籍年数がすぐに思いつくでしょうか。2022年4月、私たちはつい最近卒業したはずの群馬高専に再度入学し、実質の高専6年生として新生活が始まった。入学式は希望に満ち溢れた本科一年生とともに参加し、彼らの将来への期待に胸を膨らませている様子を見て、あのころの純粋さが今の自分には残っていないことに気づけた。

専攻科での2年間で、私は成し遂げたいことが一つある。それは“高専に”名を遺すということである。今の自分は、淡々と目の前に課された課題をロボットのようにこなす毎日になってしまっている。しかし、ただありきたりな毎日を送るだけでなく、なにか自分にしかできないことを成し遂げることによって、“後世に”名を残したいと考える。

AE1年の正直な感想

環境工学専攻 1年 齋藤 輝

つい先日、本科の卒業式が執り行われたなじみ深い体育館にて、今度は専攻科の入学式を迎え、環境工学専攻の学生となった。そんな高専6年目の学生生活は月日が経つのも早く、入学から一か月が経過しようとしている。そこで一か月が経った今、感じていることを書こうと思う。

本科のときと学習内容は大きく変わり、ハードな印象を受けた。授業は学修単位科目で、各授業で大量の課題が課され正直厄介である。しかし、やるべきことをやっていたら自由度も高く、空きコマを特別研究に充てたり混まない時間に学食に行けたりとメリットも多い。

特別研究では2年という時間の短さに驚いている。志望当初は2年も研究できると考えていたが、実際に計画を立てると2年しかないことに気づき若干焦りを感じている。

不満や不安などいろいろと書いたが、結局のところ専攻科は大変だけど楽しいと伝えたい。また、この2年間で充実したものになるよう毎日を大切にしようと思う。

教職員より

各学科の先生からメッセージをいただきました。

— 入学・進級特集 —
Message from faculty and staff

機械工学科

君も魔改造に挑もう

機械工学科長 櫻井 文仁



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。中学生活の後半、特に受験期のコロナの影響は皆さんにとって過大な負担に感じたとはいえありません。我慢して、耐えて、できる限り気を付けて、ようやく勝ち取った合格ですから、喜びもひとしおだと思います。これまで我慢してきた分も含めて、高専生活をエンジョイしていきましょう。

急に話は変わりますが、私は最近、某NOKの「魔改造の夜」という番組にはまっております。赤ちゃんを模した人形を改造して綱登りさせたり、子犬のおもちゃを改造して短距離を爆走させたりと、結構無茶苦茶な番組ですが、大の大人が目を見開かせながら

「改造」に夢中になっている番組です。結果だけ見れば、「だから何？」という番組ではあるのですが、「自分の技術や知識を試したい」とか、「他の企業との勝負に勝って悦に入りたい」とか、頑張る理由は様々でしょうが、番組を見ていると何か強く共感してしまう自分に気づかされます。皆さんも機械工学を学んで、その奥深さ(闇?)に魅了されてみませんか。私はといえば、壊れかけの旋盤を見ながら、魔改造してやろうかとちょっと思ったりしています。

電子情報工学科

新しいことに挑戦するために

電子情報工学科長 大豆生田 利章



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。5年後に卒業するころには高専で学んだことを生かして、新しいことに挑戦できるようになってください。まだ誰もできていないことに挑戦するためには、今まで何ができるようになっていくのかを知っていなければいけません。それを知るのが学校での勉強の目的になります。電子情報工学科で学ぶ電子工学と情報工学の両分野では、電子工学の始まりを三極管の発明から数えると117年、情報工学の始まりをENIACの完成から数えると77年の歴史があります。この間に発展した

知識・技術を理解・習得するためには、授業の内容をただ覚えるだけではなく、自分で考えていくことが必要になります。例えばプログラミングでは、単にプログラムを作るだけではなく、「どのようにして動いているのか」、「改良点はないだろうか」、「どのような使い道があるのか」を考え続けるということです。在学中は新しく学ぶことに対して考え続けることで、未知の世界に立ち向かう力をつけて、卒業後は自分の力を発揮できるようになることを願っています。

電子メディア工学科

電子メディア工学科新入生の皆さんへ

電子メディア工学科長 富澤 良行



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、入学から2ヶ月ほどが経ち、最初の難関である中間試験も終わり、高専での勉強・生活に慣れてきたことと思います。

電子メディア工学科(E科)は、エレクトロニクスに関連する分野の学問(電子が絡む物理現象を、ものづくりに応用する勉強)を行う学科です。E科では、「社会の変革に負けない技術者を育てる」ために、基礎学力の習得に重点を置いた講義や実験実習を行っています。さらに、専門科目として、「電子材料」・「情報通信」・「エネルギー」の3分野を中核に置き、基礎から応用までを系統的に学べるように、高学年に進むにつれ専門科目が多くなるように楔(くさび)形に授業科目を配しています。

専門を修めるには、基礎からの地道な積み重ねが必要です。皆さんには、毎日の継続した地道な学習を期待します。

E科は、学習内容の成果が社会のあらゆるところに生かされ、日々の生活に潤いを与え、生活がこの上に成り立っていることが実感できる学科です。E科学生の将来の姿である科学技術の研究・開発・製造に携わる者は、学習内容の成果が日々の生活に役立っている光景を目の当たりにしています。研究者・技術者の冥利に尽きるところです。皆さんもぜひこの醍醐味を味わってみましょう。

物質工学科

物質工学科から新入生の皆さんへ

物質工学科長 太田 道也



物質工学科教員一同は皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

物質工学の原点は原子・分子の微視的な世界から日常生活の巨視的な世界を捉えるところにあります。しかし、工学的材料という観点からはこれらの知識だけでは足りません。例えば、硬さや引張強度、軽量などというキーワードに対しては分子間に働く力や分子間の距離、原子間の結合の強さを理解しなければなりませんし、電気伝導性といえば一つの分子内での電子の移動と原子の振動との衝突を経て他の分子への電子の連続した移動を考えなければなりません。

見えない世界で起きている現象を見ているかのように捉えるには、実験を通じた技術的な経験や発想はもちろん、数学

や物理、電気などの幅広い知識や考察が不可欠になります。ですので、5年間の学生生活を通して多くのことに興味や関心を持ち、知識欲を高めて頂きたいと思います。

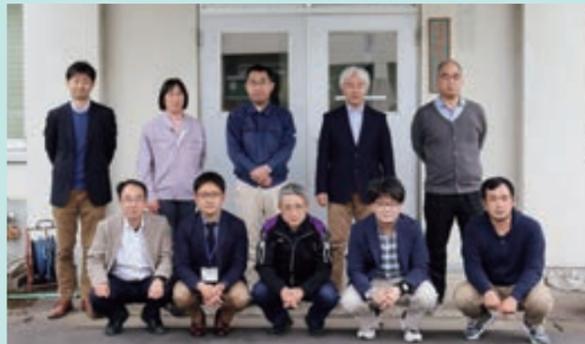
また、皆さんには日々の勉強以外に沢山の友人を作り豊かな人間関係を育てて頂きたいと思います。直面する課題に対して、自分一人の知識だけでは狭い領域しかカバーできないときに、多方面で活躍する友人が助けてくれます。

皆さんを取り巻く環境は決して孤立したものではありません。必ず、誰かが皆さんのまわりにはいます。多くの知人・友人を作り、物質工学科の学生として学生生活を楽しんでいただきたいと思います。私達教員はそれが実現するよう皆さんを応援し、サポートしていきたいと思っております。

環境都市工学科

C科へようこそ

環境都市工学科長 先村 律雄



1年生のみなさん、ようこそC科(環境都市工学科)へ。みなさんはこれから5年間、人が社会生活をする上で必要な、社会基盤に関する専門科目を学びます。

社会基盤は地球・自然を相手にするため、一人では解決できないときがあります。そのときは、チームになって一生懸命知恵を出し合い、最適解を探します。個人の能力はもちろんですが、お互いが信用できるチームになると、チームの人数以上のパワーを発揮できることがあります。

人に信用される行動の一つに“あいさつ”、“感謝”があります。“おはようございます”、“こんにちは”、そして“ありがとうございます”は信用を獲得するための第一歩です。C科教職員も“あいさつ”、“感謝”をみなさんとともにおこないます。C科チームとなって、信用関係を築きましょう。

信用の次は、学びです。集中力ON/OFFの切換、基本問題を何度も繰り返しながら学びを継続しましょう。理解とともにおもしろくなります。部活動と同じです。C科では週に2回、放課後にサポートセンターを開業していますので、上手に活用してください。さあ、いっしょに楽しい高専生活にしましょう。

一般教科(人文科学)

新1年生の皆さんへ

一般教科長(人文科学) 伊藤 文彦



「私の教育主義は自然の原則に重きを置いて、数と理とこの二つのものをもとにして、人間万事有形の経営はすべてソレカラ割り出して行きたい」(福沢諭吉著「福翁自伝」より)

福沢は緒方洪庵の私塾(適塾)で、世界の最新知識に触れている頃から、科学技術の発展に貢献し得る学問の必要性を感じていました。若い頃は、試験管、フラスコ、ガスバーナーの代わりに、徳利、炭、七輪を活用して、塩酸やアンモニアの生成実験をしていました。教育思想家として名高い福沢を身近に感じることができるとい

ますので、ぜひ「福翁自伝」を読んでみてください。理数系科目を中心に勉強する皆さんの心を捉えることでしよう。

さて、明治維新から150年近く経過した今では、国語、社会、英語、中国語といった科目の勉強も、地球規模の課題を解決するために、欠かすことができません。また、心身を鍛錬し、健やかな成長を促す保健・体育も学校教育にはなくてはならない科目です。理知的な解を求める理数系科目とともに、人文系科目も学習していきましょう。十代後半の教育は将来発展の基礎であり、勇躍の源となります。

Your high school and junior college life starts here!

一般教科(自然科学)

きっとできるに違いない!

一般教科長(自然科学) 宇治野 秀晃



新入生のみなさん、保護者のみなさま、本校へのご入学、おめでとうございます。

本校での学びの日々では、達成感に高揚する日もあれば、いろいろな迷いや、挫折感に苦悩する日もあるでしょう。これまでも、周囲をよく観察し、自分を省みること、言われなくてもやっていたことと思います。でも、もっと大切なのは、少し前の自分自身との比較ではないでしょうか。自らの進歩・成長を、これまで以上に敏感に感じ取るよう、心がけてください。

新しい知識や技術を自分のモノにすることは、それなりに大変です。また修得の速さ、到達できるレベルは、本当に

人それぞれです。具体的な勉強の仕方に関して細かいことを言うところ、すべての人にうまくフィットする、必勝のメソッドは多分存在しません。ただ「きっとできるに違いない!」と信じることは、何らかの目標をクリアするための必要条件だと、経験上思います。

ときにへこむこと、それもあつあるです。それでも学びの歩みを止めずに進み続ける日々が、みなさんが今思いもしないような高みへと、みなさん自身を導くことでしよう。応援しています。

教育研究支援センター

より良い学びのために!

教育研究支援センター長 木村 清和



本校には学生・教員の研究と授業を支援するため教育研究支援センター(以下、支援センター)があります。支援センターはいろんな専門分野の技術を身に着けた18名の技術職員で構成され、みなさんが授業をより安全に、かつ深く学べるように適切な助言や指示を行い、より良いサポートを心がけています。実験実習で困ったことやどうしてよいかわからない場合は是非、技術職員に声をかけてみてくださ

い。適切なアドバイスがもらえますよ。

また、卒業研究、特別研究さらには部活動等で装置や部品の加工が必要な場合は指導教員や顧問の先生に連絡して、支援センターに相談してください。専門分野の知識と技術を活かして問題解決と依頼加工に取り組みます。

よりよい学びのために支援センターはみなさんに寄り添った支援を心がけています。

総務課(総務)

『総務課』を紹介します

総務課長 渡辺 英雄



新入生の皆さん、コロナ禍での入学となりましたが群馬高専での学校生活はいかがでしょう。さて、皆さんは総務課をご存じでしょうか。管理棟に「総務課」はあります。学生課には卒業するまで幾度となく訪れることとなりますが、総務課は縁遠い場所と思います。そこで総務課の仕事を簡単にご紹介します。総務課はふたつの事務室に分かれています。管理棟2階では「総務」を担当し、1階では「財務」を担当しています。2階にある「総務担当」は、【総務係】と【人事係】の2係で構成されており、主な業務は次のとおりです。

【総務係】入学式や卒業式・修了式などをはじめとした各種学校行事の実施、学校の主な会議の開催、学校の広報などの業務
【人事係】教職員の採用や異動、給与計算及び教職員の研修などの業務
一方で1階にある総務課(財務担当)では、【財務係】【経理係】【研究協力係】【施設管理係】の4係で構成されており、主な業務は次のとおりです。

【財務係】学校の予算や入学金・入試検定料・学生寮の寄宿料の管理などの業務
【経理係】授業料の納入、物品の購入・管理、旅費、謝金などの業務
【研究協力係】教員の研究推進、外部資金の獲得、地域企業等との連携や人材育成、技術支援などの業務
【施設管理係】学校環境の整備や土地・建物の維持管理などの業務
このように総務課の仕事は、皆さんが、日々快適に勉強することができるよう人的・物的な環境整備を行う役割を担っています。ちょっと地味だけど、なくてはならない組織だと思っています。皆さんの修学・研究・課外活動・地域連携・社会貢献等の活動が安全・安心に行えるよう取り組んでまいります。

総務課(財務)



学生課

皆さんをサポートします

学生課長 湯本 直哉



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。学生課長の湯本です。いまだコロナウイルスの収束が見込めない中、学生生活にも不自由な面があると思います。本校でも出来る限りの対策を行った上で、皆さんが楽しんでいただけるようなるべく日常に近い授業や部活動を実施していきたいと考えています。また、体育祭、球技大会及び芸術鑑賞会なども今年度は実施する予定です。

私たち学生課は、みなさんが充実した学生生活を送れるよう手助けするための存在であり、決して敷居の高い場所ではありません。ちょっとした困りごとでも遠慮なく声をかけて下さい。私自身も入職してから30年になりますが、そのほとんどを学生のみなさんと過ごしてまいりました。学

生と話すこと、学生が喜ぶことが大好きで、学生に関わる仕事ができることに大きな喜びを感じています。学生の皆さんが心身ともに充実した学生生活を送り、それぞれの希望する会社や大学進学に向けて頑張る姿を応援していきたいと思っています。これからも皆さんの立場に立って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

各学年主任より

新学年になった学生へ、学年主任の先生方からメッセージをいただきました。

2学年

2年生の皆さんへ

第2学年 学年主任 伊藤 文彦



皆さんはこの1年間で、中学生時代とは異なるレベルの知識を身につけてきました。論理性と聡明さをさらに体得したので、将来の飛躍がとても楽しみです。引き続き、課題の提出と定期試験前の勉強を軸として、常に自己を磨いていきましょう。2年で学ぶ科目では、1年

の時よりワンランクアップした学び・知育が設定され、思考や応用力を伴う学習が求められます。3年になると知育レベルはさらに上がり、暗記だけでは解決できない課題が与えられます。

この1年間で、群馬高専が居心地の良い学び舎であることはわかってもらえたことと思います。2・3・4・5年では、1年生の時に蒔いた種をさらに成長させましょう。そして、社会に出た時にはきれいな大輪の花を咲かせてください。

Never stop learning!

4学年

後悔のない進路選択を

第4学年 学年主任 山内 啓



4年生は将来に向けて明確な行動を取る1年となります。インターンシップ・企業説明会・オープンキャンパスへの参加・TOEICの受験など具体的な行動を起こす必要があります。しかし、その前に自分は何がやりたいかを明確にすることが大切です。自分の言葉で声に出して

みましょう。そうすることで、具体的な道筋がいくつか見えてくるでしょう。あとは本人が努力して道を切り開いていくのみです。迷ったら、担任など様々な教員へ相談してください。教員の様々な経験はいくばくかのヒントになることでしょう。私たち担任は、このような学生への手助けを惜しむことはありません。自ら道を切り開いていくことは大変です。先輩方や先生方の経験を活かして自分にあった進路選択を期待しています。

3学年

目標を立てよう!

第3学年 学年主任 五十嵐 睦夫



学校生活にも十分に慣れた3年生ともなると、マンネリ感を感じて進むべき道を見失う人が現れたりします。私が以前に卒研を担当した学生もそんな一人でした。活路を見出すために思案の末、通学手段をそれまでの電車から自転車に切り替えてみたそうです。自宅から学校まで

の20km以上を1年間毎日往復し続け、体力増強という思わぬ相乗効果も得ました。そのおかげもあって4・5年生の学校生活は充実したものとなり、希望にかなった立派な進路を得て卒業していきました。

目標は何も、勉強に限らなければならないわけではないのです。中学の同級生が大学受験で部屋に閉じこもりがちな生活を送るのを尻目に、独自の目標を持ってこの1年を過ごせるのは高専生の特権です。その時間をどう活用するかは、各人の選択にかかっています。奮起を期待しています。

5学年

「決断」の学年です

第5学年 学年主任 平井 宏



5年時は、就職・進学など、具体的な進路の決定の時期です。

まずは、様々な可能性を模索してください。人生の岐路に立っている今、「これまでの歩み」を振り返り、自分には何ができるのか、そして、「これから

の歩み」を眺め、自分はこれから何をしたいのかについて考えてみてください。そして、悩んだ後には「決断」が必要です。

ここでお願いしたいのは、夢に向かってチャレンジして欲しいということです。来春には、会社に入り、大学や専攻科に進み、皆さん方が多くの良い経験に恵まれますことを希望します。そして、そんな体験を糧にして新しい「価値」を創造して行くことを期待します。

着任挨拶

Arrival greeting

初心に戻って

一般教科(人文科学) 講師 石関 正典



令和4年4月より群馬高専一般教科(人文科学)講師として着任いたしました石関正典と申します。平成23年4月から令和4年3月まで11年間群馬高専で社会科の非常勤講師として勤務してきましたが、専任教員としてまた1からのスタートとなります。教職員の皆様や学生の皆さんから色々な事を学ばせていただき、教育者として、研究者として早く一人前になれるよう精進していきたいと思ひます。

さて、私の専門ですが、地方の鉄道や路線バスの歴史について調査しています。とりわけ群馬県は公共交通機関が不便で「車王国」といわれますが、かつては全国平均を上回るほどの路線バス利用がありました。それがなぜ路線の縮小に転じたのか、事業者の経営や自治体の政策に内在した問題点を分析することで、明らかにしようと考えています。また、2014年6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産登録されたことを機に、群馬県内の養蚕製糸に関わる遺産の保存活用や、養蚕製糸の歴史と文化をいかに継承していくかにも関心を持って調査・研究を進めています。授業の中でも群馬県の話題を積極的に取り上げ、身近な地域の歴史や文化を学び、将来展望ができるような内容を心掛けていきたいと思ひます。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

Profile

- ① 出身地 群馬県北群馬郡吉岡町
- ② 前職 群馬工業高等専門学校非常勤講師
- ③ 最終学歴 高崎経済大学大学院経済・経営研究科博士 後期課程修了
学位：博士(経営学)
- ④ 研究分野 交通地理学、産業考古学
- ⑤ 趣味 写真、旅行、ライブ鑑賞、模型制作
- ⑥ 座右の銘 成功とは、失敗を重ねても、やる気を失わないでいられる才能である

郷里で心機一転

物質工学科 准教授 羽切 正英



本年度4月より、物質工学科に准教授として着任しました羽切(はぎり)です。群馬高専物質工学科を卒業、同専攻科を修了後、大学院を経て、福島県いわき市の福島高専で長らく教員をしていました。おなじ高専から母校への配置換ではありませんが、いろいろと違う点も多く、勉強させていただいている毎日です。一日でも早く学生の皆さん、保護者の皆さん、教職員の皆さんのお力になれるよう頑張つてまいります。学生の皆さんもどうぞ気軽に声をかけてください。

専門分野について、学位取得後しばらくは物質と光との相互作用を扱う「光化学」の分野にいましたが、最近では様々な分野の研究にチャレンジしています。例えば現在は、機能材料(発光体、光触媒、多孔質材料、微結晶)の合成や分離膜の作製、またそれらを応用したプロセス開拓などに注力しております。少し変わったところでは、実家の周りが蒟蒻芋の畑だらけだったことを思い出して、蒟蒻由来グルコマンナンを素材とした汜過膜の開発などを最近始めました。

これまで学生として7年、教員として16年と、人生の半分以上は高専に浸かってきたことになりましたが、偏狭な考えに凝り固まることなく、視野を広く持つて教育・研究にあたつていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

Profile

- ① 出身地 群馬県高崎市(旧吉井町)
- ② 前職 福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学科 准教授
- ③ 最終学歴 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 材料科学専攻 博士後期課程 修了
学位：博士(工学)
- ④ 研究分野 材料化学・物理化学
- ⑤ 趣味 ドライブ・町中華めぐり
- ⑥ 座右の銘 走りながら考える

悔いのないほうに

電子情報工学科 教授 菊地 洋右



津山高専より参りました菊地と申します。津山高専では国際交流(シンガポール)、情報センター、担任、寮務、学生生活、知財などの仕事を経験しました。

今回、群馬高専には人事交流の同居支援プログラムでの着任です。母が要介護4となり、実家が老々介護という状況になったのです。コロナ前は母も多少は元気で「孫と動物園に行きたい」と申しておりました。今となっては叶えられそうにはありません。私が悔いていることの一つです。

介護、育児など様々なライフイベントが発生します。学生の皆さんにはどんなライフイベントも後悔のない方を選んでほしいです。おそらく学生の皆さんにとって近づいているライフイベントは卒業後の進路選択でしょう。進路選択は突然起こるライフイベントではありません。準備ができるライフイベントです。ぜひ、しっかりと準備をして、失敗を恐れず進路選択をしてほしいと思ひます。私もそのような皆さんと一緒に学び、そして今までの経験を活かしてサポートできればと思ひます。

まだ分からないことばかりで教職員の方、あるいは学生にも迷惑をおかけしてしまうことがあるかもしれませんが、精いっぱい仕事をしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

Profile

- ① 出身地 埼玉県深谷市
- ② 前職 津山工業高等専門学校総合理工学科教授
- ③ 最終学歴 群馬大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了
学位：博士(工学)
- ④ 研究分野 グラフ理論、アルゴリズム
- ⑤ 趣味 献血(39回)
- ⑥ 座右の銘 目標に向かっての努力は目標を達成する確率を上げてくれるものであって、必ずしも努力が報われるとは限らない。

60年の歩みと新たな1ページ

事務部長(併)総務課長 渡辺 英雄



4月1日付けで群馬大学から着任しました。3月までは主に附属病院に関する総務の仕事をしていたため、業務内容に隔たりがあり若干戸惑っていますが、みなさんの学修・研究の活動がしやすい環境づくりに努めていきたいと思ひます。

さて高等専門学校制度が創設されて60周年を迎えました。昭和37(1962)年4月に第一期12校が開校されて以来、国立高等専門学校は現在では51校55キャンパスの体制となっており、国内外で活躍する多彩な人材を輩出し続けています。この第一期校に群馬高専も含まれており、卒業生・修了生は約1万人となっています。先輩方が作られてきた伝統を引き継ぐとともに、新たな1ページを一緒に作っていかれたらと考えています。

在校生、卒業生、教職員の皆さんとともに歩む1年にしたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

安全に実習をしましょう

教育研究支援センター 技術職員 中澤 将大



令和4年4月から教育研究支援センターの技術職員に着任いたしました中澤将大(なかざわまさひろ)です。主に機械工学科の実習等の支援を担当いたします。どうぞよろしくお願ひします。

私は、大学を卒業後は自動車関連の会社で自動車製造設備の設置業務に携わつてきました。安全に作業が出来るように、危険予知活動等に力をいれておりました。実習では様々な危険があるので、安全に実習ができるようにその経験を活かして皆さんのお役に立てればと思ひます。

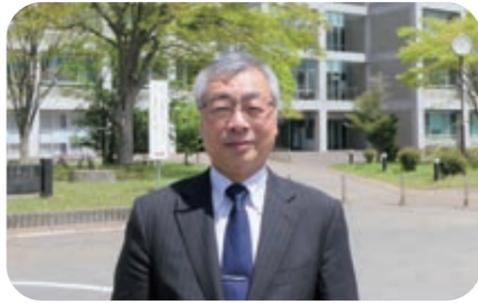
教育の現場は初めてなのでご迷惑をおかけする事もあるかと思ひますが、早く皆さんのお力になれるよう努力していきます。また、どこかで見かけたら気軽に声をかけていただけたら嬉しいです。よろしくお願ひいたします。

退任挨拶

Retirement greeting

長岡高専から群馬高専、そして木更津高専

前校長 山崎 誠
(木更津工業高等専門学校長)



木更津高専に赴任してもうすぐ一ヶ月になります。海なし県から港のある町で生活を始めています。急な異動で群馬高専を後にすることになり、教職員・学生の皆様にはご心配をお掛けすることになり、申し訳なく思っています。校長として群馬高専で楽しく充実した生活ができました。

長岡高専で教員として33年勤務し、群馬高専で校長として5年、そして木更津高専にきました。同じ高専という学校種ではありますが、同じようで、違いも多い各々の高専です。今回の異動でもこのことを感じています。高専毎に特色を持つこと自体は良いことですが、各高専の良いところを取り入れてより良くしていくのも大切なことと思います。国立高専が独立行政法人に移行して18年になりますが、この間高専の運営や教育環境は大きく変化し、特に、教育改善、国際化、地域貢献、研究推進の面では各高専間の取組みに違いもあります。各高専には創立以来歩んできた歴史があり、立地している地域での役割も違います。個性を大切に、お互いが切磋琢磨して高専全体を発展させていくことが重要だと思います。

学校の雰囲気には敷地の環境も大きく影響すると思います。長岡高専から群馬高専から移ったときは、雪国の学校と

雪が積らない地域にある学校の建物構造が違うことに驚き、それが学校運営や人の交流にも影響していることを感じました。木更津高専も群馬高専と同じ雪の積らない地域の高専ですが、校内の土地の段差は結構あり、廊下を歩いていると、2階がいつの間にか3階になったりすることがあります。校内を散歩していると敷地に変化があります。それでも、西湖もある群馬高専のキャンパスの方が自然豊かで魅力的です。

房総半島を臨み、憧れの太平洋に面した土地に住むことになりました。アクアラインで東京湾を渡れば木更津です。観光地やアウトレットモールもあり、週末には多くの人々が東京・川崎方面から来て、道路は渋滞します。機会があれば、是非木更津高専にもお立ち寄り下さい。

群馬高専の益々の発展と教職員・学生の皆様のご健勝をお祈りしています。

群馬高専・豊田高専で過ごした11年間

元一般教科(人文科学) 准教授 加藤 健
(大阪産業大学 経済学部 国際経済学科 准教授)
※2017年から人事交流で豊田高専に在籍

大変ご無沙汰しております。群馬を離れて5年。「誰?」と思われる方も多いかもしれません。この春、11年間お世話になった高専を退職し、大阪で新たなスタートを切ることに致しました。



2011年4月に群馬高専に着任し、保護者の皆さま、先生方、事務の皆さまにも支えられ、大変充実した6年間を過ごすことができました。そして、授業やクラス担任、部活動などを通して、実に多くの素晴らしい学生に出会いました。彼ら彼女らと共に私自身も多くのことを学ぶことができ、これは何よりも大きな宝物となっています。

2017年4月からの5年間は、人事交流で地元愛知県の豊田高専におりました。同じ高専であっても色々細かな点での違いに戸惑いました。また、仕事と介護・子育ての両立に悩んだ5年間でもありました。

今後も高専生の皆さんと過ごした貴重な時間を思い出しながら、新任地でも頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

感謝の心で

前物質工学科 准教授 工藤 翔慈
(千葉工業大学 工学部 応用化学科 助教)



正式に異動が決まったのは3月に入ってからで、最終的には自らの判断ではありますが、気持ちの整理をする間もなくの退任でしたので、このような挨拶の場をいただけますことに感謝申し上げます。

2018年4月に着任してから、研究室の立ち上げと独立した運営、授業・実験の担当、クラス副担任、部活動顧問、校内委員会、寮の宿直、長岡技術科学大学との分析機器遠隔利用プロジェクトなど、私にとって初めてのことが沢山ありましたが、教職員の皆さまには手厚いご指導・ご鞭撻ならびにご支援をいただきました。また、学生の皆さんの元気と優しい心、ならびに保護者の方からのご理解に支えられてきたこともあり、振り返ってみれば人生の中でかけがえのない財産となった充実した4年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

仕事に慣れてきてこれからという段の退任で大変恐縮ではありますが、群馬高専で授かった人生の財産を糧に、感謝の心を忘れず、今後の職務に取り組んでいく所存です。

各施設から

学生相談室

学生相談室から

学生相談室長 谷口 正

この4月から、学生相談室では、新しいカウンセラーの先生が1名着任されました。坪田カウンセラーです。今年度の相談室は次のようになりました。月曜日は坪田カウンセラー、火曜日と木曜日は中村カウンセラー、水曜日と金曜日は内山カウンセラーです。相談室員は大岡先生、渡邊俊哉先生と私です。この3名は、各研究室にていつでも相談が受けられます。保健室では、藤川看護師と伊藤看護師が対応しています。学生支援係は、新平さんと南野さんです。お気軽に相談室をご利用ください。

また、学校適応感尺度調査を春と秋に実施します。「学生が抱えている不安や悩み、問題などを初期の段階から把握し、状況に応じた支援をする」を目的として、担任や学生相談室による面談と合わせて実施します。学生と保護者の皆さんに、ご理解とご協力をお願いします。



後列：相談員、相談員、インターカー、インターカー
前列：相談員、室長、相談員

着任挨拶



学校カウンセラー
坪田 裕佳

4月より学生相談室カウンセラーに着任いたしました。5年という長い学生生活が楽しく充実したものとなるよう、みなさん一人ひとりの思いに寄り添い、できる限りのサポートをいたします。

対人関係のこと、勉強のこと、自分自身のこと、些細なことと思うことでも深刻な悩みでも、どんなことでもかまいませんので、ぜひお気軽にご来室ください。

予約していただくか、相談室のドアが開いているときは声をかけてください。相談室でお待ちしています。



学生相談室を利用しよう

《学生相談室を利用するには》

- ◆直接来室するか、保健室に連絡してください。
(保健室でも相談できます)
☎027-254-9065 (相談員 藤川(看護師))
- ◆保健室が不在の際は、インターカーに連絡してください。
インターカー ・新平美由紀(学生支援係)
・南野 健(学生支援係)
☎027-254-9057 (学生支援係インターカー)
※インターカーとは…
相談を希望する学生や関係者の話を最初に聞き、援助のしかたを判断する人のことです。話の内容によって適切な相談先(カウンセラー・相談員・校医など)に取りつぎます。
- ◆相談室開室時に電話で予約できます。
☎027-254-9067 (相談室直通)
☎027-254-9154 (相談室長 谷口)
- ◆電子メールでも予約できます。
✉ soudan@gunma-ct.ac.jp
- ◆家族の方からの相談も受け付けています。

《開室日と担当者》

- 月曜日 15:00~18:00
坪田カウンセラー
- 火曜日 15:00~18:00
中村カウンセラー
- 水曜日 13:00~16:00
内山カウンセラー
16:00~18:00
※予約状況により開室
- 木曜日 15:00~18:00
中村カウンセラー
- 金曜日 15:00~18:00
内山カウンセラー
- 相談員(看護師)については、保健室で相談出来ます。
- 不定期(必要に応じて)*要予約
河合カウンセラー

各施設から



図書館

コロナ前の運用に戻しました

図書館長 神長 保仁

コロナ禍のため、昨年一昨年と2年続けて図書館の開館時間を短縮するなど、サービスを制限してきましたが、今年度は4月からコロナ前の運用に戻しました。感染防止対策は引き続き必要ですが、ぜひご利用頂ければと思います。今後感染状況が悪化した場合は、再び利用制限をかける可能性はありますが、その際はご協力をお願い致します。

さて本校の図書館には、昨年度末の時点で11万4,312冊の蔵書があり、このうち10万4,624冊が和書で、9,688冊が洋書です。コロナ禍だった昨年と一昨年を別にするると、例年7万人弱の入館者があり、毎年6,500冊程度が貸し出されています。ちなみに本校図書館の蔵書の44.1%に相当する5万

465冊は理工系書籍です。理工系書籍は一般の図書館にはあまり置いていないことが多く、これだけの蔵書を持つ本校の図書館は、本校の学生や教職員にとってはもちろん、群馬県内の理工系の学生や研究者にとっても貴重なものです。みなさんの学習や研究に積極的に活用して頂けることを願っています。



ダイバーシティ推進室

「全員参加型」ダイバーシティ推進室

ダイバーシティ推進室副室長 太田 たまき

「ダイバーシティ」は「多様性」という言葉で説明されますが、これは「年齢・性別・人種・宗教・趣味嗜好など、さまざまな属性の人が活躍できる場の構築を実現する」ということ。要は、個人の特性や各自の背景などにとらわれず、学生には学業に集中できる学習環境を、教職員には気持ちよく働ける職場環境を構築し、各自の能力が存分に発揮できるようにするための取り組みのことです。

ダイバーシティ推進室では、本校の取り組みを可視化し、学生から教職員に至る全員が上記の目標達成が実感できるような活動を目指しています。これまでも男性教員の料理動画配信や焼きそば対決、スキンケア教室などを実施してきましたが、

新型コロナウイルスの影響を十分に配慮しつつ、今後はこれまで以上に多くのことを発信していきます。私たち推進室室員も気づいていない問題点や課題が存在しているかもしれません。それをみなさんの側から提案・指摘することも、立派な「ダイバーシティ推進」活動の一環です。積極的な関わりを期待しています。



情報基盤センター

パスワードを忘れるな?!

情報基盤センター長 布施川 秀紀

PC、スマホ、タブレット等を使う時にはサインインしなくてはなりません。本人確認にはパスワードが必要になります。個人利用の機器では、毎回パスワードを入れる負担を減らすために、その機器が記憶する仕組みなどもあります。このようなことに頼ってしまっていると、いざパスワードが求められた場合に「さて、何だったっけな?」と困ってしまう人もいます。パスワードは忘れてしまうと誰も調べることはできず、管理者にリセットしてもらうしか対処する方法はありません。

とはいえ、高専統一パスワードポリシーに従った10文字以上で大小英数字記号を含んだ複雑なパスワードを記憶して

おくのは大変です。そんな場合には、スマホのアプリを使い自分しかアクセスできない場所に記録しておくことも一つの解決策になります。紙媒体にメモしておく、他人に見られたり、落としてしまう恐れがあるのでお勧めできません。

便利なものを賢く使い、快適な学校生活を送りましょう。



インターンシップ支援室

WITHコロナでのインターンシップ

インターンシップ支援室長 出口 米和

みなさん、こんにちは。この原稿を書かせていただいている時点では、令和4年度の実施方法について協議中ですが、インターンシップの実施方法が決まりましたら、速やかにご連絡させていただきます。

現在も新型コロナウイルス陽性者の人数が高止まりの状況であり、新変異株が確認されたり、第7波が来るのではないかと言われております。昨年度はオンラインで実施されるインターンシップのみ、参加していただきました。今年度もコロナウイルスへの対応を考えた上での取り組みになると思います。

コロナウイルスの影響でインターンシップの方法も変わり

ました。オンライン開催、対面開催、ハイブリッド開催などで実施されています。いずれにしても、WITHコロナでのインターンシップと考えていただき、支援室では学生のみなさんの安全を最優先して取り組みたいと考えています。よろしくお願いたします。



国際交流室

国際交流の新しい形を模索しながら

国際交流室長 熊谷 健

新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) が猛威を振るい、これまで行ってきた国際交流関係の行事が滞るようになって早2年が過ぎ去った。“with Covid-19”という時代であると言えるが、人々の不安はまだ消えるような感じがしない。従来型の海外研修の実施が非常に難しい状態が続き、オンラインでの国際交流を模索していく必要がある。さらに、国際交流と言えば、「英語でコミュニケーション!」という発想に結びつきますが、別の発想も必要である。本校には現在7人の留学生がいる。その留学生はこれまで寮生活の中で寮生との交流があったであろうが、

通学生との交流は必ずしも活発とは言いがたい。学内における国際交流の活発化を図ることが新たな時代の国際交流の姿を提示してくれるかも知れない。また、近隣の韓国や中国、そして台湾などの近隣の国々との交流も盛んになれば、英語圏だけではなく多様な国際交流が実現するのではなかろうか。暗い話題が多いが、新しい時代の幕開けも感じられる。



進路支援室

自発的な行動と情報収集を

進路支援室長 大和田 恭子

進路支援室は、教務主事や専攻科長、各学科の進路指導教員(進学担当)、担任の先生方と連携しながら、卒業後の進路選択のうち主に進学に関する情報を提供しています。室員の荒川先生とともに、よりよい情報提供ができるようにして参りますので宜しくお願いいたします。

進路決定は皆さんの人生にとってたいへん重要なものです。進学においても専攻科か大学編入学か悩む学生も多いでしょう。自ら情報を集め、自発的な行動が大切です。進路支援室では、取り寄せた大学編入学試験の過去問題を図書館の進学資料コーナーに保存しています。実際に解いてみてはいかがですか。

また、貴重な資料として、全学科の先輩方の「進学・就職試験受験報告書」があります。学生課に設置してありますので是非参考にしてください。学校HPから、大学編入学や大学院入試の昨年度の日程情報等を見ることが出来ます。年度後半には、大学編入学・大学院入学説明会を開催します。皆さんの将来の夢につながる大学編入学や大学院進学が叶うよう心より願っています。



図書館の進学資料コーナー

サイエンスメンタープログラム完了報告
高専GCON2021優秀賞受賞

研究発表から学ぶものは∞!

理科部 4K 岩佐 茜

私は、部活として2年生の後期からサイエンスメンタープログラムで、外部の先生にご指導いただきながら、研究を進めました。今年の3月末に一年間の研究成果を発表し、優秀賞を頂きました。研究発表会では各分野の専門家の先生方からの質疑応答が活発に行われます。私はこの発表会を通して、先生方からの質疑応答では鋭い質問を受けることが多くありました。しかし、自信をもって「私はこう思います。」と答えられれば、研究発表をディスカッションの場にすることができると実感しました。

また、高専内での大会として「高専 GCON2021」に出場しました。私は、この大会を通して、理事長にどうしても伝えたいことがあります。理事長から、「本研究で用いた原理の提唱者である Nernst 先生を超えたと思っはいけない」というこ

指摘をいただきましたが、「私は、ただ Nernst 先生を尊敬しているだけです! Nernst 先生を超えたなどと考えたことはありません。」と伝えたいです。

それぞれの大会から学ぶことはたくさんあり、このスペースでは取りません!あと一週間後には、科学の最高峰の世界大会である ISEF が待っています!今までの研究発表会で得た経験を生かして、精一杯楽しみたいと思います!



※ISEFでの研究発表に対して、「文部科学大臣特別賞」の受賞が決定しました。

令和3年度
学生表彰理事長特別表彰

学生表彰理事長特別表彰を受けて

2AP 鈴木 颯太

「人工衛星「KOSEN-1」の開発実績が評価され、学生表彰理事長特別表彰をいただいた。実際に高専機構を訪れ、理事の方々や職員の方々とお話しできたことは大変貴重な経験となった。特に印象的だったのは、理事や職員の方々がこれでもかというくらい褒めてくださったことだ。「なぜこんなに喜んでいいのか」というと、みんなの活躍は高専生の可能性を広げてくれるからだ。学生の活躍をアピールすることで、高専の認知や予算を拡大していくことができる。」と理事の方はおっしゃっていた。高専機構の方々が、高専生の「価値」を高めるべく尽力していただいているおかげで私たちの進路や予算等、活躍の場が存在しているのだと強く感じた。

このような環境を存分に活かせるよう勉強や研究に取り組んでいきたいと思う。

今回このような表彰をいただくことができたのは、平社先生、伊藤、萩原をはじめ衛星開発メンバーのおかげである。この場を借りて感謝申し上げたい。

インフラテクコン2021
最優秀賞受賞

あつまれ!グンマの風 インフラテクコン受賞報告

2AP 清水 敬太

この度、インフラマネジメントテクノロジーコンテスト 2021 の最優秀賞をいただきました。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。インフラテクコンのコンセプトは「〈学びを生かして社会課題を解決するワクワク感を体験〉インフラマネジメント技術を仲間と一緒に考え・まとめ・発表することを通じて、勉強してきたことがただテストのためだけでなく、社会に役立てられることを知る機会とする」というものです。今回受賞の対象となった研究は「風レンズを用いた垂直軸型風車による高効率発電」をインフラ整備に役立てるといふもので、それを外部の先生方や企業の方々にも伝えることができたということ素直にうれしく思います。普段は研究室の中だけで進んでいく研究ですが、それを動画、面談、プ

レゼンという形で第三者に伝え、そして評価をしていただくということは、自分にとって大変励みになり、またしっかり研究に向き合っていこうという思いを強くすると改めて感じました。ご指導いただいた矢口先生をはじめ、審査やご助言をしていただいた方々に心より感謝申し上げます。まだまだ未熟ですが、この受賞を励みに研究活動に専心して参ります。

群馬県サッカー協会 栄誉三章受賞
「優秀チーム賞」「優秀指導者賞」「功労者賞」群馬県サッカー協会
栄誉三賞の受賞報告

サッカー部監督 機械工学科 教授 黒瀬 雅詞

この賞は公益社団法人群馬県サッカー協会表彰規程に定められた歴史ある賞として毎年、協会の審査を経て、理事会承認の上で決定されます。

地区大会等で上位の大会に出場する資格を得て、全国大会に県代表として出場し、全国大会3位以上の輝かしい成績を残した選手・チーム及び群馬県サッカー協会の発展・向上に尽力した指導者・関係者の功績を称え表彰するものです。それが「優秀選手・優秀チーム賞」・「優秀指導者賞」・「功労賞」の三賞を併せて表彰するため、栄誉三賞と呼ばれます。

優秀選手賞は全国大会に登録された選手全員に、優秀チーム賞は群馬工業高等専門学校サッカー部に贈られ、優秀指導者賞は尾谷誠コーチを、功労賞は長年、関東高専サッカー連盟に尽力された元電子メディア工学科の鈴木靖教授を推薦して承諾されました。鈴木先生は群馬県サッカーリーグの社会人リーグの運営に携わって来られたことも評価されました。

サッカー部の顧問を始めて27年となりますが、初めて戴く賞でした。支えてくださいました学校、保護者の関係の皆様方へご報告と感謝の御礼をお伝えいたします。

功労賞を受賞して

元電子メディア工学科 教授 鈴木 靖

1979年(昭和54年)、本校に着任すると同時にサッカー部顧問となりました。当時の主任顧問は一般科人文の故岡上登喜男先生で、関東高専サッカー連盟を中心となって立ち上げられた方であり、連盟の委員長を務めておられました。十数年後、先生の定年に伴い連盟の委員を私が引き継ぐことになり、そこから副委員長、委員長を何期か務めつつ、4年前の定年まで委員を務めてまいりました。

サッカー部は、普段は群馬県社会人サッカーリーグに参加して活動しています。1部から3部(以前は4部)までありますが、これまで1部以外の全てのカテゴリーに所属してきま

た。そこでも運営委員としてリーグの運営に関わってきました。これらのことが評価されての今回の功労賞受賞は大変光栄なことであり、これまでいろいろな面でご協力いただいた関係の皆様方に感謝申し上げる次第です。

顧問在任中は全国高専大会2回戦の壁を破ることができなかったため、今回の3位という結果は、私としても大変嬉しく、また感慨深いものがあります。

群馬高専サッカー部の高専大会、群馬リーグその他の大会でのさらなる活躍に期待し、OBとしてこれからも応援しています。

多大なる感謝を

サッカー部 4J 山本 空澄

この度は群馬県サッカー協会様から優秀チーム賞をいただいた事、大変ありがたく思います。また、チームメンバー1人1人に表彰状と素敵なトロフィーをくださり、深く感謝しています。

昨年度のサッカー部はチーム一丸となって関東大会を勝ち上がり、全国大会で3位という結果を残せました。この結果を残したことで、このような賞をいただけたと思います。昨年度の活躍だけに終わらず、今年度も全国大会に出場し3位以

上になれるよう、より一層チーム一丸で取り組んでいきます!

コロナ禍で大変な状況の中、今回このような賞をいただいたのは長年サッカー部の顧問をして下さっている黒瀬先生をはじめとした先生方、熱心に指導をして下さる尾谷コーチ、サッカー部の伝統をつないで下さった先輩方、群馬高専サッカー部に関わって下さった皆様のおかげです。サッカー部員を代表して感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



西湖浚渫

桜の下 学生による西湖浚渫作業実施

環境都市工学科 特命教授 青井 透

西湖(正観寺沼)は中群馬用水の末端となる自然豊かな里池(観察される野鳥種類数は前橋・高崎随一)ですが、大きな降雨毎に流域からヘドロ・土砂が持ち込まれ埋没の危機にあります。前校長山崎先生は、本高専の誇りである西湖の状況を心配され、特別に期末予算を若干付けて頂きました。青井はNPOの理事でもあるので、2014年春休みに実施したのと同様に現場責任者となり、学生にアルバイトとして参加して頂く形で2週間の浚渫業務を春休みに実施しました。この浚渫技術は青井が西湖で学生と共に開発した工法で既に50件を越える実績があるので、浚渫装置は懇意にしている造園屋から実機をリースしました。

参加してくれた学生はC科の1～3年生で、毎日3～4名が参加し、本格的な作業をしてくれ、8日間の操業で4トン以上の底泥を浚渫できました。このような作業は通常体験できないので、学生にはとても面白かったようです。浚渫場所はカワセミのダイビングスポット2ヶ所を中心に行いました。

この浚渫脱水土はフレーク状で栄養豊富なのでプランタ培養土として最適で、操業中に多くの方が取りに来られました。まだ脱水土の余りが西湖入口ゲートに残っていますので、興味ある方はお持ち頂けると幸いです。



台船上のC科学生と回収脱水土(右上)



浚渫底泥を凝集分離・脱水土として回収

栄典(紺綬褒章)

鬼に金棒の学生を育てるために

群馬工業高等専門学校 名誉教授 竹本 廣文

群馬高専の学生は優秀です。

高専生は早い時期からの専門教育、さらに豊富な実験や実習を通して学力ばかりでなく手足も機敏に動くと言われており、彼らが就職する産業界から高く評価されています。また、5年制の本科やさらに2年間の専攻科の卒業生が編入・進学する大学学部・大学院の先生方からのみならず、国際的にも非常に有意義な教育形態であるとの評価を得ています。

私は平成22(2010)年4月に群馬高専に学校長として着任しましたが、着任以前から群馬高専生の学力の高さを耳にしていました。着任後はそれを実感したわけですが、さらに学生たちの能力を伸ばし将来の幸に貢献できる方策は何かと思案した結果、「国際性の涵養」に至りました。国際性を身に付け鬼に金棒になってもらいたかったのです。

そして、平成24(2012)年が群馬高専の創立50周年に当たることから、海外英語研修の導入を50周年記念事業の筆頭に位置付けるとともに、研修参加者の個人負担を軽減するための「海外研修等支援基金」の構築も記念事業に位置付け募金しました。その際、ある一定額以上の寄附に関しては、寄附者名を付した奨学金として学生に給付するという条項を盛り込みましたが、多くの一般寄附がある一方、この条項に該当する寄附者は現れませんでした。

私は平成25(2013)年3月をもって定年退職となり、そして2年前には定年後の第2の職場を退任したことをきっかけに群馬高専が新たに設けた「学生の国際交流・学習支援のための寄附金」をさせていただきました。なお、学校側の提案で私の寄附金はコロナ禍収束後、約10年間にわたり海外での学生の学会発表の援助に充てられることになっています。

やり残した仕事をしただけであるのに学校からの感謝状ばかりでなく紺綬褒章までいただいたのは、何か気恥ずかしさも感じます。多くの卒業生、特に群馬高専発足の早い段階で高専生活を送ったOBの方々にこの寄附金制度を知っていただき、群馬高専を盛り立てていただければと願っております。



竹本名誉教授(左)と山崎前校長(右)

編集後記

編集後記を読む人はあまりいないと思いますが、最初ですので、この場を借りて自己紹介をしておきます。今年度より校長補佐・広報戦略担当となりました、佐々木 信雄です。学校のPRが仕事ですが、僕自身は裏方で、あくまで主役は学生たちです。君たちが活躍してくれると、学校だよりも充実しますし、対外的にもアピールしやすいので、どうか皆さん、学業、部活動、研究、進学や就職など頑張ってください。よろしく願います。(広報委員長 佐々木 信雄)